

2022年度

日本健康医療専門学校

シラバス　（講義概要）

ライフデザイン学科

2年生

専門科目	外国語	英語 II			
宮崎 研三					
必修	2 単位 (30時間)	講義	2年次		
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>					
〈概要〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解能力(Listening)を養うことを目的とする。 その為、たくさんの英語を聞いて、耳を英語に慣れさせる。					
〈到達目標〉 英語を聞き取ることが出来るようになる。					
<b>2 授業内容</b>					
1回	レベルチェック				
2回	演習・解説 リスニングPart 1, 2				
3回	リスニング・スクリプトのディクテーション				
4回	小テスト・リスニング・スクリプトのディクテーション				
5回	演習・解説 リスニングPart 1, 2				
6回	小テスト・リスニング・スクリプトのディクテーション				
7回	演習・解説 リスニングPart 1, 2				
8回	演習・解説 リスニングPart 1, 2				
9回	リスニング・スクリプトのディクテーション				
10回	リスニング・スクリプトのディクテーション				
11回	リスニング・スクリプトのディクテーション				
12回	演習・解説 リスニングPart 3, 4				
13回	演習・解説 リスニングPart 3, 4				
14回	演習・解説 リスニングPart 3, 4				
15回	演習・解説 リスニングPart 3, 4				
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>					
出席率と授業態度を重視します。 自分で発音することも大切なので積極的に練習に参加する。					
<b>4 教科書</b>					
特に指定せず、プリントを使用する。					
<b>5 参考書</b>					
公式TOEIC Listening & Reading問題集、公式TOEIC テスト公式問題集 新形式問題対応編 TOEICテスト新形式精選模試リーディング、公式TOEIC Listening & Reading リーディング編 公式TOEIC Listening & Reading リスニング編、TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ					
<b>6 成績評価の方法</b>					
出席率（課題・態度等含む）40% 定期試験 60%					

一般科目	外国語	英語 II	
小林健	旅行会社に10年勤務 外国人に他する観光案内などを経験 実践的英語を学び、教授に活かす。 医師の学会に専属し業務に関する対話通訳を行ってきた。		
必修	2単位（30時間）	講義	2年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

主に TOEIC® の Part6、Part7 の過去問等を用い、様々な種類の書かれた情報を限られた時間内に素早く読み取る訓練、内容把握のテクニック、文法事項の確認、語彙力の向上を行う。

授業中は、適宜、質疑応答の時間を設けるので、どのような疑問でも構わないでの、不明点は必ず質問し、その場で解決して、疑問を残さないように心がけること。積極的な勉学姿勢が望まれる。適宜、必要な外部検定試験を受験するよう求める。

#### 〈到達目標〉

TOEIC®における読解力の訓練を通じて上級学校への進学を目指す上で必要と思われる総合的な英語力の習得を目的とする。高等教育や企業で求めらるCRFR の B2 レベル(TOEIC 換算785点以上)を到達目標とする。

### 2 授業内容

- |     |       |              |
|-----|-------|--------------|
| 1回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 2回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 3回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 4回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 5回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 6回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 7回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 8回  | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 9回  | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 10回 | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 11回 | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 12回 | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 13回 | 演習・解説 | リーディングPart 6 |
| 14回 | 演習・解説 | リーディングPart 7 |
| 15回 | 演習・解説 | リーディングPart 6 |

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

予習は必須。辞書機能を使用するためでも授業中の携帯電話の使用は禁止する。私語厳禁。

### 4 教科書

使用するプリントを配布する。

### 5 参考書

### 6 成績評価の方法

出席50%、試験50%

専門科目	外国語	英語 II	
松田 朋子	貿易会社に勤務し、主に対アメリカの輸出入実務を経験する。 照明メーカーの輸出入業務を経験する。実践的な英会話を教授してきた。		
必修	2単位 (30時間)	講義	2年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

〈概要〉

be動詞、一般動詞、疑問詞、過去形、進行形、未来の文、現在完了、助動詞、不定詞など

・スキットを使用した会話練習

ディクテーション

発音練習

自分のことに置き換えて練習

〈到達目標〉

英文法を基礎から身につけ、文法とは別に、表現をフレーズとして覚えて使えるようになる。

### 2 授業内容

1回	文型 ①	16回	態
2回	文型 ②	17回	態
3回	時制 ①	18回	比較表現
4回	時制 ②	19回	比較表現
5回	助動詞 ①	20回	関係詞
6回	助動詞 ②	21回	関係詞
7回	準動詞 ①	22回	仮定法
8回	準動詞 ②	23回	仮定法
9回	準動詞 ③	24回	接続詞
10回	準動詞 ④	25回	接続詞
11回	準動詞 ⑤	26回	前置詞
12回	準動詞 ⑥	27回	前置詞
13回	準動詞 ⑦	28回	形容詞、副詞、疑問文
14回	準動詞 ⑧	29回	形容詞、副詞、疑問文
15回	準動詞 ⑨	30回	名詞、代名詞

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%

### 4 教科書

プリント配布

### 5 参考書

「キリトリ式でペラっとスタディ！中学英語の総復習ドリル」

「ABOUT ME 英語でスラスラ自分が言える本」

「TOEICテスト文法完全攻略ルールブック」

### 6 成績評価の方法

平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%

専門選択科目	人文科学	日本語聴解
山本 京子		
選択	4単位(60時間)	講義 2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>		
〈概要〉		
①語彙を増やす（擬音語・擬態語・擬声語含む）。		
②スキミング・スキャニング・サーチリスニングなど様々な聞き方を習得する。		
③音読による発音矯正を行なう。		
④適切に要約できる力をつける。		
〈到達目標〉		
大学の講義や会社でのプレゼンが聴けるレベルの聴解能力をつけてる。		
<b>2 授業内容</b>		
1回	基本的な聴解練習	16回 統合的な練習
2回	導入及び周辺知識（スキーマの活性化）	17回 プロジェクトトーク
3回	導入及び周辺知識（スキーマの活性化）	18回 プロジェクトトーク
4回	テキストを使用した聴解	19回 プロジェクトトーク
5回	テキストを使用した聴解	20回 プロジェクトトーク
6回	重要語句・重要表現等確認	21回 プロジェクトトーク
7回	重要語句・重要表現等確認	22回 プロジェクトトーク
8回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	23回 プrezentation
9回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	24回 グループ決め、テーマ決め
10回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	25回 内容話し合い、ポスター作成
11回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	26回 プrezentation内容調整
12回	ニュースやテレビ番組を使用した聴解	27回 プrezentation練習
13回	解答・解法解説（聴読解図表・グラフ等）	28回 プrezentation練習
14回	解答・解法解説（聴読解図表・グラフ等）	29回 プrezentation練習
15回	解答・解法解説（聴読解図表・グラフ等）	30回 発表
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>		
積極的な参加を求む。		
<b>4 教科書</b>		
『完全攻略（改訂版）聴解・聴読解』『ニュースの日本語聴解50』		
『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聽解（中級～上級）』		
『聴解・発表ワークブック』『日本語能力試験N1聴解必修パターン』、生のニュースなど		
<b>5 参考書</b>		
<b>6 成績評価の方法</b>		
講義への参加度（出席率、態度、提出物） 50%		
試験 50%		

一般科目	人間関係論	ビジネスマナー	
吉川 知子	一般企業にてビジネスマナーの社員教育を担当。商業実務課程の専門学校講師20年		
必修	4単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
1.	1年で学んだ基本的なビジネスマナーをもとに、フォーマルな人間関係において今後必要とされるプレゼンテーションスキルを身につけ、良好な人間関係を築けるようにする。		
2.	履歴書とビジネスメールの作成方法と基本的マナーを学ぶ。		
3.	指示の受け方、報告の仕方の手順と話し方を学ぶ。		
〈到達目標〉			
・	社会人として恥ずかしくないビジネスマナーを身につける		
・	色々な場面での効果的なコミュニケーションを身につける		
<b>2 授業内容</b>			
1回	履歴書のポイントと注意点、書き方係	16回	立ち振る舞い（お辞儀・入退室一連の動作）
2回	履歴書のポイントと注意点、書き方係	17回	立ち振る舞い（お辞儀・入退室一連の動作）
3回	履歴書のポイントと注意点、書き方係	18回	立ち振る舞い（お辞儀・入退室一連の動作）
4回	演習問題Ⅰ（履歴書作成）	19回	立ち振る舞い（お辞儀・入退室一連の動作）
5回	演習問題Ⅰ（履歴書作成）	20回	面接試験での考え方・話し方・聞く態度
6回	演習問題Ⅰ（履歴書作成）	21回	面接試験での考え方・話し方・聞く態度
7回	ビジネスメールの種類とポイント、書き方	22回	面接試験での考え方・話し方・聞く態度
8回	ビジネスメールの種類とポイント、書き方	23回	面接試験での考え方・話し方・聞く態度
9回	ビジネスメールの種類とポイント、書き方	24回	模擬面接
10回	演習問題Ⅱ（ビジネスメール作成）	25回	模擬面接
11回	演習問題Ⅱ（ビジネスメール作成）	26回	模擬面接
12回	指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方	27回	模擬面接
13回	指示の受け方～メモをとる、復唱確認の話し方	28回	模擬面接
14回	報告の仕方～話し方	29回	模擬面接
15回	報告の仕方～話し方	30回	模擬面接
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・	16回目からは「マナーの基本」を復習します。面接試験受験のスタイルで受講するよう指示があった場合は、相応しい服装・身だしなみで授業に参加してください～評価対象		
・	模擬面接は決められた期間中に必ず一度は体験してください～評価対象		
・	模擬面接では面接官として質問するなど、積極的に発言してください～評価対象		
<b>4 教科書</b>			
適宜配布する資料を使用			
<b>5 参考書</b>			
「面接対策 & ビジネスマナー」 ウィネット			
「社会人常識マナー検定テキスト」 社団法人 全国経理教育協会			
「ビジネス文書実務」 早稲田教育出版			
<b>6 成績評価の方法</b>			
定期試験 50%	出席率・学習成果・学習態度など 50%		

専門必修科目	キャリアデザイン I・II		キャリアデザイン
内田 勉			
西島 一人			
必修	4単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 自分の将来像を考え、進路研究を行う。希望進路に進むために必要な知識や資格を洗い出し、スケジュールを立てる。 自己理解ワークシートを使用し、キャリアプランニングを行う。			
〈到達目標〉 自分を知り、進路を考える			
<b>2 授業内容</b>			
1回	進路研究 ガイダンス	進路研究	企業研究
2回	進路研究 自己理解	進路研究	
3回	進路研究	進路研究	進路学習
4回	進路研究	進路研究	
5回	個人面談	個人面談	
6回	進路研究 業界研究	進路研究	志望理由・志望理由書
7回	進路研究	進路研究	
8回	進路研究	進路研究	
9回	進路研究	進路研究	
10回	進路研究	個人面談	
11回	進路研究	企業研究	
12回	進路研究	企業研究	
13回	進路研究	企業研究	
14回	進路研究	企業研究	
15回	個人面談	個人面談	
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・個人面談は必ず受けのこと ワークシートなどの宿題は必ずやってくる			
<b>4 教科書</b>			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率、授業態度、個人面談			

専門選択科目	ビジネス英語ⅠA・ⅠB	英語
小林健	旅行会社に10年勤務 外国人に他する観光案内などを経験 実践的英語を学び、教授に活かす。 医師の学会に専属し業務に関する対話通訳を行ってきた。	
必修	2単位（30時間）	講義 2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>		
〈概要〉 問題集を解くことによって、TOEIC試験の理解と出題特徴を把握し、本番でどんな問題でも対応できる能力を身につける。この科目では、リーディングに注視し、授業を行なう。		
〈到達目標〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解・読解能力を養い、高得点を取ることを目的とする。		
<b>2 授業内容</b>		
1回	リーディング演習	①短文対策
2回	リーディング演習	②短文対策
3回	リーディング演習	③短文対策
4回	リーディング演習	④短文対策
5回	リーディング演習	⑤長文対策
6回	リーディング演習	⑥長文対策
7回	リーディング演習	⑦長文対策
8回	リーディング演習	⑧長文対策
9回	リーディング演習	⑨長文対策
10回	リーディング演習	⑩総合問題
11回	リーディング演習	⑪
12回	リーディング演習	⑫
13回	リーディング演習	⑬
14回	リーディング演習	⑭
15回	リーディング演習	⑮
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>		
予習は必須。辞書機能を使用するためでも授業中の携帯電話の使用は禁止する。私語厳禁。		
<b>4 教科書</b>		
使用するプリントを配布する。		
<b>5 参考書</b>		
<b>6 成績評価の方法</b>		
出席50%、試験50%		

選択科目	ビジネス英語ⅠA・ⅠB	英語
松田 朋子	貿易会社に勤務し、主に対アメリカの輸出入実務を経験する。 照明メーカーの輸出入業務を経験する。実践的な英会話を教授してきた。	
必修	2単位（30時間）	講義 2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>		
〈概要〉 問題集を解くことによって、TOEIC試験の理解と出題特徴を把握し、本番でどんな問題でも対応できる能力を身につける。この科目では、リーディングに注視し、授業を行なう。 ・ TOEIC Part5演習		
〈到達目標〉 TOEIC試験対策を中心に、聴解・読解能力を養い、高得点を取ることを目的とする。		
<b>2 授業内容</b>		
1回	TOEIC Part5 文法練習	
2回	TOEIC Part5 文法練習	
3回	TOEIC Part5 文法練習	
4回	TOEIC Part5 文法練習	
5回	TOEIC Part5 文法練習	
6回	TOEIC Part5 文法練習	
7回	TOEIC Part5 実戦練習	
8回	TOEIC Part5 実戦練習	
9回	TOEIC Part5 実戦練習	
10回	TOEIC Part5 実戦練習	
11回	TOEIC Part5 実戦練習	
12回	TOEIC Part5 実戦練習	
13回	TOEIC Part5 実戦練習	
14回	TOEIC Part5 実戦練習	
15回	TOEIC Part5 実戦練習	
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>		
平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%		
<b>4 教科書</b>		
プリント配布		
<b>5 参考書</b>		
「TOEICテスト文法完全攻略ルールブック」 TOEIC L&Rテスト レベル別問題集 470点突破		
<b>6 成績評価の方法</b>		
平常点（出席率・授業参加度）50%、試験50%		

専門必修科目	特別演習ⅡA・B	読解
川島 麻衣		
必修	4単位 (60 時間)	講義 2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>		
〈概要〉 長文を読み解く力の育成。大学及び大学院での講義に問題なくついていける読解力を養う。		
〈到達目標〉 「日本留学試験」「大学独自試験」「日本語能力試験」にあわせた読解能力の育成を目的とし、日常的な文章から学術的な論説文の読解能力を目標とする。		
<b>2 授業内容</b>		
1回	基礎的な現代文読解	16回 総合読解
2回	基礎的な現代文読解	17回 総合読解
3回	基礎的な現代文読解	18回 総合読解
4回	基礎的な現代文読解	19回 総合読解
5回	基礎読解トレーニング	20回 演習トレーニング
6回	基礎読解トレーニング	21回 演習トレーニング
7回	基礎読解トレーニング	22回 演習トレーニング
8回	基礎読解トレーニング	23回 演習トレーニング
9回	基礎読解トレーニング	24回 演習トレーニング
10回	各試験に向けた演習トレーニング	25回 演習トレーニング
11回	各試験に向けた演習トレーニング	26回 新聞記事および論文などを読み解く力を養う
12回	各試験に向けた演習トレーニング	27回 新聞記事および論文などを読み解く力を養う
13回	各試験に向けた演習トレーニング	28回 新聞記事および論文などを読み解く力を養う
14回	各試験に向けた演習トレーニング	29回 新聞記事および論文などを読み解く力を養う
15回	総合読解	30回 新聞記事および論文などを読み解く力を養う
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習中の辞書の使用は認めない。（試験の際に辞書は使用できない為、辞書のない状況での読解に慣れるため）</li> <li>欠席した日の内容を自主的に把握すること。欠席した日にプリント等が配布された場合は、後日取りに来ること。 欠席したことにより課題提出を知らなかった等は認めない。</li> <li>課題が出された場合は必ず提出すること。課題提出がない場合は単位が認められない場合もある。 課題提出期限は厳守。遅延や帰国・公欠は認めない。早めに提出するよう心がけておくこと。 公欠の場合も事前に提出しておくこと。</li> </ul>		
予習復習をすること		
<b>4 教科書</b>		
『読むトレーニング基礎』『読むトレーニング応用』『日本留学試験 完全攻略問題集 読解』、『日本語能力試験 N1直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法』日本留学試験過去問、新聞記事等。		
<b>5 参考書</b>		
<b>6 成績評価の方法</b>		
平常点（出席率、授業態度）50%、試験（小テスト、課題提出を含む）50%。		

専門選択科目	プレゼンテーション研究	プレゼンテーション研究
山本 京子	語学研究所、短期大学に勤務	
選択	2単位（30時間）	講義 2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>		
<p>〈概要〉</p> <p>グループごとにテーマを決めて、プレゼンテーションを行う。参加者全員で投票を行い、クラスから1チーム代表を決めて、学内でプレゼンテーションの大会を行う。</p>		
<p>〈到達目標〉</p> <p>自分たちでテーマを決めて、魅力的なプレゼンテーションができるようになる。</p>		
<b>2 授業内容</b>		
1回	イントロダクション	
2回	グループ決め、テーマ決め	
3回	プレゼン準備	
4回	プレゼン準備	
5回	プレゼン準備	
6回	プレゼン準備	
7回	プレゼン準備	
8回	プレゼン準備	
9回	プレゼン準備	
10回	プレゼン準備	
11回	プレゼン発表と講評	
12回	プレゼン発表と講評	
13回	プレゼン発表と講評	
14回	プレゼン準備	
15回	プレゼン大会	
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>		
積極的な参加を求む。		
<b>4 教科書</b>		
<b>5 参考書</b>		
<b>6 成績評価の方法</b>		
出席率+プレゼンテーションの評価+グループでの貢献度		

専門選択科目	ビジネス実務概論Ⅰ・Ⅱ	時事問題	
宮崎 研三			
選択	4単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 本講義は、ニュース時事能力検定を準備することで「時事問題」の理解に欠かせないキーワードや、社会の仕組みと流れについての知識を高めるのが目的である。			
〈到達目標〉 ニュース時事検定の準2級、2級のいずれかに合格する。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	政治 私たちの民主主義	16回	暮らし どう守る 消費者の権利
2回	政治 これから日本の政治	17回	社会・環境 子供を取り巻く環境
3回	政治 日本国憲法の行方	18回	社会・環境 共に生きる社会へ
4回	政治 外国の現状と課題	19回	社会・環境 司法と市民
5回	政治 変容する安全保障	20回	社会・環境 情報社会の階段の先に
6回	政治 やせ細る地方自治	21回	社会・環境 いのちと科学を考える
7回	経済 足踏みする日本経済	22回	社会・環境 災害列島に生きる
8回	経済 借金頼みの財政	23回	社会・環境 地球環境を守るために
9回	経済 世界経済の見通し	24回	国際 「強国」目指す中国
10回	経済 自由貿易体制の行方は	25回	国際 米国と民主主義の行方
11回	経済 転換期迎えた日本産業	26回	国際 核兵器と向き合う世界
12回	経済 エネルギー政策の未来	27回	国際 平和な世界どうやって
13回	暮らし 加速する人口減少	28回	コロナ後を読み解く
14回	暮らし 社会保障のこれから	29回	コロナ後を読み解く
15回	暮らし 変化する日本の働き方	30回	総括
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・ニュース検定試験2級あるいは、準2級を受けることが条件 普段からニュースに興味をもち、色々なメディアで確認してみること。			
<b>4 教科書</b>			
2022年度版ニュース検定公式テキスト「時事力」発展編（2・準2級対応）			
<b>5 参考書</b>			
時事問題に関する資料を適宜使用する			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率（課題・態度等含む）60% 定期試験 40%			

専門選択科目	ビジネスケーススタディーⅠ・Ⅱ	産業構造と技術	
青柳 巧介			
選択	6単位（90時間）	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 最新の自然科学技术について解説し、世界の工業、生産や知的財産権について説明する。 世界的な動向を踏まえて理解することを目標とする。			
〈到達目標〉 国際的な教養力を身につける。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	最新の技術 物理	16回	知的財産権の保護について
2回	ビッグデーター	17回	知的財産権の保護について
3回	AI	18回	知的財産権の保護について
4回	VR	19回	ノーベル賞受賞研究について
5回	最新の技術 生物	20回	ノーベル賞受賞研究について
6回	遺伝子組み換え	21回	ノーベル賞受賞研究について
7回	万能細胞	22回	国際関係と原油
8回	がん治療薬	23回	シェールオイルとメタンハイドレート
9回	最新の技術 化学	24回	原子力を取り巻く世界情勢
10回	スパイバー	25回	原発の安全性について
11回	半導体	26回	貿易戦争
12回	Nh（ニホニュウム）	27回	貿易戦争
13回	最新の技術 工業	28回	科学技術と環境破壊
14回	自動運転	29回	科学技術と環境破壊
15回	燃料電池車	30回	科学技術と環境破壊
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
出席率と数回のレポート提出はとくに重要。			
<b>4 教科書</b>			
適宜、コピーして配布する。			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（授業態度、宿題、小テストから総合的に判断します）とレポートを1：1の割合で評価します。			

専門選択科目	ライフスタイル研究Ⅰ・Ⅱ	近代世界史	
内田 勉	高等学校に勤務		
選択	4単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 <地理（系統地理）> 世界地誌・世界近現代史関連の問題に対応できる実力の涵養が主たる目的である。そのために「基本の徹底」を重視するが、「基本」 = 容易という誤解は禁物である。「基本」は飽くまで最重要の謂いである。従って、近代世界(史)理解において最も重要である「歴史を貫く論理」を捉えることを中心に授業は展開される。			
〈到達目標〉 近代世界史を理解し、資本主義について学ぶ。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	アジアの現代地政学と近代以降の来歴	16回	旧植民地国家群の現代地政学と近代以降の来歴
2回	アジアの現代地政学と近代以降の来歴	17回	旧植民地国家群の現代地政学と近代以降の来歴
3回	アジアの現代地政学と近代以降の来歴	18回	旧植民地国家群の現代地政学と近代以降の来歴
4回	アジアの現代地政学と近代以降の来歴	19回	旧植民地国家群の現代地政学と近代以降の来歴
5回	アジアの現代地政学と近代以降の来歴	20回	旧植民地国家群の現代地政学と近代以降の来歴
6回	欧州の現代地政学と近代以降の来歴	21回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
7回	欧州の現代地政学と近代以降の来歴	22回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
8回	欧州の現代地政学と近代以降の来歴	23回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
9回	欧州の現代地政学と近代以降の来歴	24回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
10回	欧州の現代地政学と近代以降の来歴	25回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
11回	米州の現代地政学と近代以降の来歴	26回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
12回	米州の現代地政学と近代以降の来歴	27回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
13回	米州の現代地政学と近代以降の来歴	28回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
14回	米州の現代地政学と近代以降の来歴	29回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
15回	米州の現代地政学と近代以降の来歴	30回	新聞雑誌記事(社会科学系)で学ぶ現代史
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・出席率を重視する。 ・講義内で前回の内容についての復習をする。			
<b>4 教科書</b>			
日本留学試験対策問題集 ハイレベル総合科目(改訂版)			
<b>5 参考書</b>			
・基本地図帳（二宮書店）等			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率（課題、態度等含む）50%		期末試験 50% = 合計 100%	

専門選択科目	卒業演習	異文化共生	
青柳 巧介			
選択	6単位（90時間）	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 文系科目を通して、日本語での議論、小論文が書けるようになる。 最終的に『発表する』という活動を通して、4技能の統合的な能力の向上および、グループ活動を通して他者と協力し、互いに学び合う姿勢を養う。			
〈到達目標〉 ディスカッションができる技術を習得する。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	ディスカッションの役割分担	16回	最近のニュースや技術について
2回	ディスカッションの役割分担	17回	最近のニュースや技術について
3回	時間の振り分けと議論の流れ	18回	最近のニュースや技術について
4回	時間の振り分けと議論の流れ	19回	発声と発話
5回	仮説の流れ	20回	発声と発話
6回	仮説の流れ	21回	発声と発話
7回	言葉の定義づけと状況設定	22回	ディスカッション練習＆実践
8回	言葉の定義づけと状況設定	23回	ディスカッション練習＆実践
9回	最終的な結論とロジック	24回	ディスカッション練習＆実践
10回	最終的な結論とロジック	25回	ディスカッション練習＆実践
11回	様々な議題への対応	26回	ディスカッション練習＆実践
12回	様々な議題への対応	27回	ディスカッション練習＆実践
13回	ディベート練習	28回	ディスカッション練習＆実践
14回	ディベート練習	29回	ディスカッション練習＆実践
15回	ディベート練習	30回	ディスカッション練習＆実践
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
積極的な発言、参加を求む			
<b>4 教科書</b>			
なし（討議内容によっては、他の科目の教科書を指定することがある）			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点100%（出席率、小テスト、授業態度など）。			

専門選択科目	検定対策 II A・B	小論文	
西島 一人			
野澤 涼子			
選択	4単位 (60時間)	講義	2年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

伝わりやすい文章、より適切な文章作成が出来ることを目標とする。基礎訓練として、音読、視写、要約をおこない、小論文をしっかりとかけるような練習を行なう。

それぞれの場面での志望理由書（大学入試、就職、その他）の書き方を習得し、答案作成の4ステップをきちんと踏んだ小論文を作成できるようになる。

### 2 授業内容

1回	日本語総合文章表現	16回	大学入試小論文対策
2回	日本語総合文章表現	17回	総合的文章表現
3回	日留試記述問題対策	18回	総合的文章表現
4回	日留試記述問題対策	19回	総合的文章表現
5回	志望理由書対策	20回	総合的文章表現
6回	志望理由書対策	21回	小論文対策
7回	日本語総合文章表現	22回	小論文対策
8回	日本語総合文章表現	23回	小論文対策
9回	日本語総合文章表現	24回	小論文対策
10回	日本語総合文章表現	25回	小論文対策
11回	日本語総合文章表現	26回	小論文対策
12回	日本語総合文章表現	27回	小論文対策
13回	日留試記述問題対策	28回	小論文対策
14回	日本語総合文章表現	29回	小論文対策
15回	大学入試小論文対策	30回	小論文対策

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

授業中の私語、居眠り、飲食を禁止する。課題未提出、または課題達成率が25%以下の場合、もしくはインターネット情報等からの盗用が認められた場合は平常点から大きく減点する。

### 4 教科書

「留学生のための論文徹底ドリル」、その他

### 5 参考書

適宜提示

### 6 成績評価の方法

平常点（課題提出率・授業態度・出席率）50%、試験50%

専門選択科目	経営戦略概論Ⅰ・Ⅱ	経営戦略概論	
庄 文宇	保険業界にてのマーケティング及びプロモーション業務を担当		
選択	4単位（60時間）	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 経営戦略ケースを分析することを通して、経営学の専門知識を習得する。また、併せてプレゼンテーションをすることによって、プレゼンテーション能力を養うこととする。			
〈到達目標〉 経営学の専門知識を習得する。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	コーポレート・ガバナンス	16回	プレゼン 8
2回	コーポレート・ガバナンス	17回	プレゼン 9
3回	経営理念と戦略	18回	プレゼン 10
4回	経営理念と戦略	19回	プレゼン 11
5回	モチベーションとリーダーシップ	20回	プレゼン 12
6回	モチベーションとリーダーシップ	21回	プレゼン 13
7回	雇用システム	22回	プレゼン 14
8回	雇用システム	23回	プレゼン 15
9回	プレゼン 1	24回	プレゼン 16
10回	プレゼン 2	25回	プレゼン 17
11回	プレゼン 3	26回	プレゼン 18
12回	プレゼン 4	27回	プレゼン 19
13回	プレゼン 5	28回	プレゼン 20
14回	プレゼン 6	29回	プレゼン 21
15回	プレゼン 7	30回	総括
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
プレゼンテーションは全員が参加する。			
<b>4 教科書</b>			
プリント配布			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席率等	50%		
レポート	50%		
合計	100%		

専門選択科目	数学応用	統計学 II	
青柳 巧介			
選択	8単位 (120時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 1年次で勉強したことを軸に、さらなる問題に対して柔軟に対応できる実力を養成する。数学は、統計学だけではなく、情報科学、金融学、経済学など、色々な分野で必要な教科であるので基礎を再学習した上で、高度数学へと移行する。			
〈到達目標〉 統計学に必要な数学の基礎知識を確認し、統計学の基礎を学ぶ。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	イントロダクション	16回	微分・積分の考え方
2回	数と式	17回	数列
3回	2次関数	18回	ベクトル
4回	2次関数	19回	複素数平面
5回	図形と計量	20回	平面上の曲線
6回	図形と計量	21回	極限
7回	場合の数と確率	22回	微分法
8回	場合の数と確率	23回	積分法
9回	整数の性質	24回	統計学とは
10回	図形の性質	25回	統計学とは
11回	図形の性質	26回	検定の掛け方
12回	いろいろな式	27回	多変量解析の基礎
13回	図形と方程式	28回	アンケート調査の手法
14回	指数関数・対数関数	29回	総合演習
15回	三角関数	30回	総合演習
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・授業でやった問題は必ず出来るようにしておくように。 ・必ず復習をすること。課題は必ず提出すること。			
<b>4 教科書</b>			
短期集中ゼミノート 2022大学入試 数学I+A, 新編 数学I, 新編 数学A			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（出席率、授業態度、課題提出など）50%、定期試験50%（前期集中・後期集中は授業中の小テストまたは課題で定期試験の替わりとする）。			

専門選択科目			
青柳 巧介			
選択		講義	
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
<b>2 授業内容</b>			
31回	数と式	46回	図形の性質
32回	数と式	47回	図形の性質
33回	数と式	48回	図形の性質
34回	2次関数	49回	演習
35回	2次関数	50回	演習
36回	2次関数	51回	演習
37回	図形と計量	52回	演習
38回	図形と計量	53回	演習
39回	図形と計量	54回	演習
40回	場合の数と確率	55回	演習
41回	場合の数と確率	56回	演習
42回	場合の数と確率	57回	演習
43回	整数の性質	58回	演習
44回	整数の性質	59回	演習
45回	整数の性質	60回	演習
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
<b>4 教科書</b>			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			

専門選択科目	物理応用	物理	
青柳 巧介			
選択	4単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 1年次で習ったことを基に、難しい自然現象についても理解していくようにする。授業の後半では、IT技術やAI、自動車などに使用されている技術についても解説し、最先端の技術について理解し、将来に役立てていく。			
〈到達目標〉 高校までで習う物理の内容をしっかりと把握し、色々な問題にも対応できる基礎力と考え方を身につけることを目的とする。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	<力学>	16回	・電磁誘導と電磁波
2回	・剛体の力学	17回	・電磁誘導と電磁波
3回	・剛体の力学	18回	<波動>
4回	・運動	19回	・波の伝わり方
5回	・運動	20回	・波の伝わり方
6回	・運動	21回	・波の伝わり方
7回	・エネルギー	22回	・波の伝わり方
8回	・エネルギー	23回	<熱>
9回	<電気>	24回	・個体液体と熱
10回	・電場	25回	・個体液体と熱
11回	・電場	26回	・気体の熱力学
12回	・電流と磁場	27回	・気体の熱力学
13回	・電流と磁場	28回	最新の技術・理論
14回	・電流と磁場	29回	最新の技術・理論
15回	・電磁誘導と電磁波	30回	最新の技術・理論
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・必ず復習をすること。課題は必ず提出すること。 ・授業中にやった問題は必ず出来るようにすること。			
<b>4 教科書</b>			
改訂版 総合物理1 力と運動・熱(数研出版) 改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子(数研出版) リードα 物理基礎・物理(数研出版)			
<b>5 参考書</b>			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席50点+試験50点の合計100点満点で、A(85~), B(70~84), C(60~69), F(60未満)とする。			

専門選択科目	生物応用	生命学 II	
松本一直			
選択	4単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉 1年次に学んだことをさらに発展させ、実験方法や考え方について深く学ぶ。2年次では、進化の歴史や遺伝子組み換えなどにも触れ、最新の技術を学び、自然科学とは何か考え直す。生命倫理については、ディスカッションを行い、命の尊さについて考えていく。レベルとしては、センター試験の生物を基準として、生命の不思議に触れる。			
〈到達目標〉 生命活動についての概要を知り、説明できるようになる。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	イントロダクション	16回	代謝
2回	生物の特徴	17回	代謝
3回	生物の特徴	18回	代謝
4回	生物と遺伝子	19回	生殖
5回	生物と遺伝子	20回	生殖
6回	生物と遺伝子	21回	生殖
7回	生物の体内環境	22回	発生
8回	生物の体内環境	23回	発生
9回	生物の体内環境	24回	発生
10回	生物の体内環境	25回	生物の環境応答
11回	生物の体内環境	26回	生物の環境応答
12回	生体と環境	27回	生物の環境応答
13回	生体と環境	28回	最新のトピックス
14回	生体と環境	29回	最新のトピックス
15回	生体と環境	30回	最新のトピックス
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
・主な生命現象と生物の重要用語を板書やプリントで解説し、生命系全般への理解を深める。受験生物と生命科学に必須の項目を説明し授業ごとにプリントなどで学習の進捗を確認する。 ・授業前に予習用として来週分のプリントなどを配布する。			
<b>4 教科書</b>			
第一学習社教科書。独自プリント			
<b>5 参考書</b>			
教科書は基本的内容から受験に必須な内容まで包括している。授業内容と並行して予習復習として活用する。プリントでの演習問題を通して重要な用語の確認と思考力を養う。			
<b>6 成績評価の方法</b>			
出席50%、試験50%、ただし出席3分の1未満の場合には、本試験参加できず、追試験対象者となる。			

専門選択科目	化学応用	分析学 II A・B	
浦野 直人			
選択	4単位 (60時間)	講義	2年次

### 1 授業科目の概要・到達目標

#### 〈概要〉

物質の本質を理解し、化学的な手法を使って、分析ができるための基礎を養う。1年次で習った内容をさらに深く演習を行うことによって身につけるようにする。

#### 〈到達目標〉

化学反応式を見て、反応が進むかどうか見極められるようにする。あらゆる可能性を考えて適切に分析ができるように、様々な観点から物質の反応を再度見直し、記憶に定着させる。

### 2 授業内容

1回	物質の構成	16回	化学反応
2回	物質の構成	17回	化学反応
3回	物質の構成	18回	化学反応
4回	物質の構成	19回	無機物質
5回	物質の構成	20回	無機物質
6回	物質の変化	21回	無機物質
7回	物質の変化	22回	無機物質
8回	物質の変化	23回	有機化合物
9回	物質の変化	24回	有機化合物
10回	物質の変化	25回	有機化合物
11回	物質の状態	26回	有機化合物
12回	物質の状態	27回	高分子化合物
13回	物質の状態	28回	高分子化合物
14回	物質の状態	29回	高分子化合物
15回	化学反応	30回	高分子化合物

### 3 履修上の注意・予習復習の内容

できる限り授業に出席して、教員の説明に耳を傾けて下さい。

### 4 教科書

高等学校教科書：化学基礎・化学（実教出版）を本講義の教科書とする。

基礎からのシグマベスト「これでわかる基礎反復問題集：化学基礎・化学」（文英堂）を本講義の問題集とする。

### 5 参考書

チャート式新化学「化学基礎・化学」（数研出版）を勉強資料とする。

### 6 成績評価の方法

出席点 + 試験成績で総合評価する。

専門選択科目	日本語文法	文法 II	
西島 一人			
松田 朋子			
選択	4 単位 (60時間)	講義	2年次
<b>1 授業科目の概要・到達目標</b>			
〈概要〉			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語能力試験N2の復習からN1レベルの文法力を養う</li> <li>・文型だけでなく、教科書の例文を通じて語彙や表現も広げていく</li> <li>・学習した文型や語彙を使用してアウトプットできるようになる</li> </ul>			
日本語能力試験N2、N1合格を目指す。			
<b>2 授業内容</b>			
1回	文型学習	16回	文型学習 N1レベル
2回	文型学習	17回	文型学習 N1レベル
3回	文型学習	18回	問題演習 N1レベル
4回	文型学習	19回	問題演習 N2レベル
5回	文型学習	20回	例文作成練習 N1レベル
6回	問題演習	21回	例文作成練習 N1レベル
7回	例文作成練習	22回	運用練習 N1レベル
8回	例文作成練習	23回	運用練習 N1レベル
9回	例文作成練習	24回	「文の組み立て」練習 N1レベル
10回	運用練習	25回	「文の組み立て」練習 N1レベル
11回	運用練習	26回	総合演習
12回	運用練習	27回	総合演習
13回	「文の組み立て」練習	28回	総合演習
14回	「文の組み立て」練習	29回	総合演習
15回	「文の組み立て」練習	30回	総合演習
<b>3 履修上の注意・予習復習の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の私語、内職、居眠りは厳禁とし、それらの行為が認められた場合は平常点から減点します</li> <li>必ず予習・復習および課題を行ったうえで受講すること。</li> </ul>			
<b>4 教科書</b>			
「日本語能力試験問題集 N1文法スピードマスター」			
<b>5 参考書</b>			
適宜提示			
<b>6 成績評価の方法</b>			
平常点（出席率・授業参加度）50%、試験（授業中に行うクイズも含む）50%			